

英語科授業案(公開授業II)(各教科の概要・授業案：  
英語科)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田中, 裕史 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00024641">https://doi.org/10.14945/00024641</a>

# 英語科授業案（公開授業Ⅱ）

授業者 田中 裕史

- 1 日 時 平成 29 年 11 月 9 日（木）11:10～12:00
- 2 学 級 3 年 B 組（男子 18 名 女子 21 名 計 39 名）
- 3 単 元 名 Japanese Culture
- 4 単元目標

## （1）各要素と単元目標の関連

意識した要素	単元目標
<b>【要素 B】</b> 日本文化の説明，日本文化に対する思いや経験を言ったり書いたりして相手に伝える力 自己を振り返る力 できるだけ平易な英語を用いて表現する力	・日本文化について自分の言葉で説明することができる。 （外国語表現の能力）
<b>【要素 C】</b> インタラクション（対話）等のストラテジー（方略）を使おうとする態度 異文化についてその差異を認め，積極的に理解しようとする態度	・身振り手振り，知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。 （コミュニケーションへの関心・意欲・態度）

## （2）要素育成の判断基準（特に意識したもの）

**【要素 B】** 日本文化の説明や日本文化に対する思いや経験を言ったり書いたりして相手に伝える力

検証方法：追究用紙	
3	日本文化について，相手に状況や様子がはっきりと伝わるように，まとまりのある英文で説明することができる。
2	日本文化について，ある程度相手に状況や様子が伝わるように，まとまりのある英文で説明することができる。
1	日本文化について，相手に状況や様子が伝わるように，まとまりのある英文で説明することができない。

**【要素 C】** インタラクション（対話）等のストラテジー（方略）を使おうとする態度

検証方法：行動観察	
2	身振り手振り，知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。 相手に聞き返すなどして，言われたことを確認しながら聞き続けている。
1	自分の考えを話そうとしない。 相手の話を聞こうとしていない。

## 5 単元について

### （1）教科テーマと単元との関わり

英語科で育てたい生徒像は、「英語を使って自己の思いや考えを正しく伝え合うことができ，自律的に学習に取り組む生徒」である。そのために英語科で一番大事にしていること，英語学習の土台になるものは，態度面である。生徒には，積極的に会話をすることで，楽しみながら，英語を身に付けてもらいたいと考えている。まずは，間違いを

恐れず、積極的に英語を使う態度を養っていく。

その次に大切になるのが、語彙や、文法事項である。生徒は語いや文法事項をある程度身に付けている。しかし、それらを知識として知っているだけでは意味がない。実際に自分が表現する中で、使える知識として身に付けさせ、強固なものにしていく。

態度や語彙、文法事項をベースにして、最終的に相手に自分の思いを伝える力や自己を振り返る力を育成していきたいと考える。自分が伝えたいことを伝えられる力が付くことで、さらに英語を身に付けようとする態度が高まり、必要な文法事項が身に付き、より高度な表現ができるようになると思う。このようなスパイラルを繰り返すことで、自律的に学習に取り組むことへとつながっていくことを期待する。

今年度は、流暢さを保ちながら、適切さ・妥当性を高めるための方策を模索していきたいと考え、教科テーマを「fluency と adequacy の両立をめざした授業開発～Speakingの力を高めるために」とした。1学期の「くさび単元」では、“Imaginary Experience”に取り組んだ。その取り組みの中で、生徒は、「流暢に話すことができる一方、相手に伝わる言い方ができていないことがある」ことが明らかになった。

次期学習指導要領解説「やりとり」の中に、「事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする」という一文がある。その中の「整理」とは、聞き手が理解しやすいように伝える項目を精選したり適切な順序に並べ替えたりするなど、話す内容をまとめ、コミュニケーションの見通しを立てることを意味している。

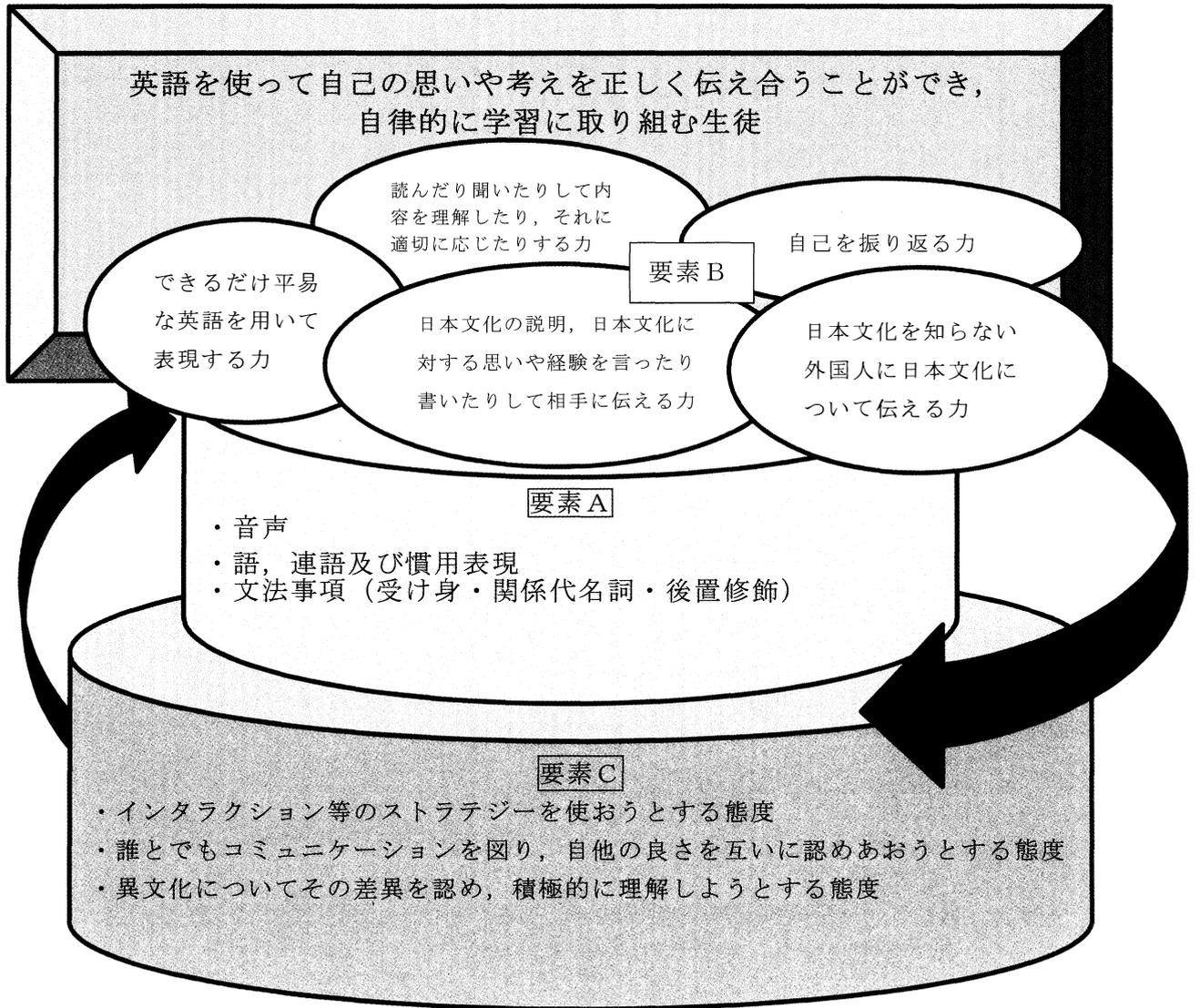
また、同じく解説の「発表」の中には、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする」とある。ここにも「整理」という言葉が示されている。これは「伝えたい内容や順序、聞き手に分かりやすい展開や構成などを考えたり、事実と考えを分けて整理したりする」ことを意味している。

これらのことからわかるとおり、コミュニケーションにおいては、「思いや考えが相手に伝わる」ことが大事なのである。流暢さだけではなく、相手に適切に伝わる必要がある。そこで本単元では、オーストラリアから来ているインターンシップ生に自分が考える日本文化を伝えることを最終目標として授業を展開していく。単元を通して、即興で流暢に話す力を伸ばしたり、仲間と英文を練り合う中で、より相手に伝わる英文を作らせたりしたい。まずは、即興で話す力を高めるために、日本文化に関する写真を見せ、その状況や、自分の経験について話をさせ、会話へとつなげていく。次に、実際に外国人向けに書かれた日本文化の紹介文を読み、どのように書かれているかを確認する。自分の文章と比べることで、どのように書けば相手に伝わるのかを確認させたい。数回繰り返す中で、どうしたら意図したことが伝わるのか考えていく。その際に、インターンシップ生にも入ってもらい、アドバイスをもらうことにする。また、話した内容を文字に書き出すことで自分の間違いを発見させたり、よりよい表現に書き直させたりしたい。

日本文化に対するイメージがわいたところで、“This is Japan”というテーマで写真を準備させ、生徒個々が感じている日本文化を紹介する。最初の発表は小集団でおこない、発表者・司会者・聞き手に分かれ、それぞれの役割を決め、即興的な会話へとつなげていきたい。小集団発表をした後、voice recorder を使って録音した音声をもとに、より伝わる英文となるように練り上げ、清書と写真の準備をして、クラスでの発表をしたい。

最後に、英文の清書を一冊の本にまとめ、インターンシップ生にプレゼントしたいと考えている。

本単元で意識した各要素のつながりを構造化したものが、図1である。



【図1：本単元で意識した構造図】

(2) 指導計画 (13 時間扱い)

時	○目標 ・ 授業内容	主な要素		
		A	B	C
第1時	<p>&lt; Picture Talk First Trial 1 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ある日本文化についての写真を見せて自分の知っている範囲で，その写真についての紹介をする。【即興性】</li> <li>・ その写真について，グループで会話をする。（経験・歴史など）</li> <li>・ 英文を書き出し，加除修正をする。（より伝わる英文に）</li> </ul> <p>○既習事項を用いて，自分の言葉で日本文化を紹介することができる。 (外国語表現の能力)</p>		○	○

第2時 第3時	<p>&lt; Picture Talk First Trial 2 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本文化に関する英文を読む。</li> <li>・ 第1時で使った写真の説明をする。(voice recorder)</li> <li>・ 書き出して加除修正をする。</li> </ul> <p>○既習事項を用いて、自分の言葉で日本文化を紹介することができる。 (外国語表現の能力)</p>	○	○	
第4時	<p>&lt; Picture Talk Second Trial 1 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ある日本文化についての写真を見せて自分の知っている範囲で、その写真についての紹介をする。【即興性】</li> <li>・ その写真について、グループで会話をする。(経験・歴史など)</li> <li>・ 英文を書き出し、加除修正をする。(より伝わる英文に)</li> </ul> <p>○既習事項を用いて、自分の言葉で日本文化を紹介することができる。 (外国語表現の能力)</p>		○	○
第5時 第6時	<p>&lt; Picture Talk Second Trial 2 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本文化に関する英文を読む。</li> <li>・ 第1時で使った写真の説明をする。(voice recorder)</li> <li>・ 書き出して加除修正をする。</li> </ul> <p>○既習事項を用いて、自分の言葉で日本文化を紹介することができる。 (外国語表現の能力)</p>	○	○	
第7時 第8時	<p>&lt; Research &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Let's make the list of "This Is Japan".</li> <li>・ 紹介したい日本文化を決め、それについての英文を書く。</li> </ul> <p>○文構造や語法、文法などに関する知識を身に付けている。 (言語や文化についての知識・理解)</p>		○	○
第9時 本時	<p>&lt; Presentation &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Let's talk about "This Is Japan".</li> <li>・ 自分なりの日本文化を小グループで説明する。</li> </ul> <p>○自分が考える日本文化について、簡単な語句や文を用いて説明することができる。 (外国語表現の能力)</p>	○	○	
第10時 第11時	<p>&lt; Writing &amp; Drawing &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章と絵を準備する。</li> <li>・ Show and Tellでの発表を意識して取り組む。</li> </ul> <p>○文構造や語法、文法などに関する知識を身に付けている。 (言語や文化についての知識・理解)</p>	○	○	
第12時 第13時	<p>&lt; Show and Tell (Speech) and Reflection &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスでの発表会をおこなう。</li> <li>・ 反省と振り返りをおこなう。</li> </ul> <p>○既習事項を用いて、自分の言葉で日本文化を紹介することができる。 (外国語表現の能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終原稿を冊子にまとめ、インターンシップ生にプレゼントする。</li> </ul>		○	

## 6 本時について

(1) 授業名 Let's Talk About "This is Japan"! (9/13)

(2) 目標

自分が考える日本文化について、簡単な語句や文を用いて説明することができる。

【要素B】(外国語表現の能力)

(3) 授業過程

学 習 活 動	・支援及び留意点 ◎評価	形態・時間
<b>Warm-up</b> ○English Song	・自由に移動して歌うように指示し、明るい雰囲気を作る。	All 4
<b>Warm-up 2</b> ○Picture Talk	・生徒の席をランダムに移動する。 ・前時までに使った日本文化に関する絵を見せ、その絵についてペアに語る。また、ペアで会話する。	Pair 6
<b>Presentation in small groups</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             Let's talk about "This is Japan" !           </div> <p>S1: Please look at this picture.            We Japanese often use masks.            Have you ever used masks?            When do you use them?            Most Japanese use masks when we have sickness and to protect sickness.            But, from my research, in foreign countries, they don't often use them.            That's why I think the mask is "This is Japan"!</p> <p>S2: Thank you, S1. You feel Japan when you see people wearing masks.            That's interesting. I often wear masks in winter. How about you S3?</p> <p>S3: I have used masks before, but I don't use masks these days.            It's interesting to know that only Japanese use masks.</p> <p>D4: I don't like masks because I wear glasses.            ・役割をローテーションして、これを4人繰り返す。</p>	・小集団（4人組）になり、日本を感じられるものについての説明をする。 1人5分の持ち時間とし、発表者・司会者・聞き手に分かれる。発表者のスピーチを聞いた後、司会者の進行で会話を進める。 発表者 ①日本を感じられる発表をする。 ②聞き手を巻き込む。 司会者 ①発表者の意見の確認をする。 ②自分の意見や感想を言う。 ③聞き手や発表者に話題をふる。 聞き手 ①反応しながら聞く。 ②司会者に促されたら、積極的に意見や感想を言う。 ③発表者に質問してもよい。 ◎自分が考える日本文化について、簡単な語句や文を用いて説明することができる。 【要素B】(外国語表現の能力)	Small Group 25
<b>Presentation in the class</b> ・内容が良かった代表者が発表する。 ・教師からの振り返りをする。		All 10
<b>Reflection</b> ・自己評価表、アドバイスカード、「こんなこと言いたかった表現」の記入		All 5